

研究課題名	末梢肺病変に対する経気管支クライオ肺生検における新型 1.7mm クライオプローブと従来型 1.9mm クライオプローブの有用性を比較検討する後向き観察研究
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学において、肺癌が疑われる病変に対するクライオ生検（凍結生検：病変部を瞬間的に-89度まで凍結させ、採取します）において、新型 1.7mm クライオプローブと従来型 1.9mm クライオプローブの有用性と安全性を比較検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2026年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2019年10月～2022年10月に大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科で、原発性肺癌が疑われる末梢肺病変の診断のために、新型 1.7mm もしくは従来型 1.9mm のクライオプローブを用いて気管支クライオ肺生検を行われた年齢 20 歳以上の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【腫瘍組織（病理プレパラート）】 診療情報等：【患者基本情報（年齢、性別、喫煙歴、既往歴、併存症、内服薬、病期、画像所見）、病理検体情報（組織診断結果、検体サイズ、挫滅の程度）、内視鏡処置情報（内視鏡術中所見）】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 研究責任者 中井 俊之
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 （担当者氏名）中井 俊之 電話番号：(06)6645 2306